

# 課題別講義：643-6-DP1・DP3・DP4・DP5・DP6・DP7・DP8

年次	学期	学則科目責任者
6年次	前学期	6年次学年教育主任

学修目標 (GIO) と単位数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単位数：3</li> <li>・学修目標 (GIO)：臨床歯科医学における問題解決能力の素地を養うために、歯科基礎医学的知識について習得する。</li> </ul>
担当教員	*有川 量崇、*多田 充裕、*宇都宮 忠彦、松野 昌展、田口 千恵子、谷本 安浩、加藤 治、平塚 浩一、玉村 亮、松本 裕子、吉垣 純子、栗原 紀子、後藤田 宏也、佐々木 佳世子、落合 智子、五十嵐 由里子、近藤 信太郎、岩崎 太郎、*齋藤 真規、6年次学年教育主任
講義実施要項	<p>1) 講義教室：400教室(学科目あるいは実施内容によっては変更する可能性あり)</p> <p>2) 講義時間：4月は8:40~9:40、5・6月は9:00~12:00(自習時間、確認テスト・解説を含む) (ただし、医療行動科学9ないし課題別臨床実習の平常試験当日の時間帯は13:00~16:00とする。なお、前記に該当しない日も ある。)</p> <p>3) 当該学科目の講義当日に講義内容についての確認テスト(10分間)及びその解説(20分間)を実施する。 4月 17:40~18:10、5・6月 11:30~12:00、午前平常試験の日 15:30~16:00 (ただし、前記に該当しない日もある)</p>
評価方法 (EV)	平常試験1~5(40%)及び総合試験(60%)で算出した正答率が70%以上の者を合格者とする。不合格者には再試験を実施する。再試験の合格判定基準は正答率が70%以上とし、総合試験及び平常試験結果を合格判定に加味できる。総合試験欠席者には追試験を実施することがある。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/04/02(木) 1時限 08:40~09:40	歯科材料・歯科生体材料の物理的および力学的性質、応力-ひずみ曲線	<p>【授業の一般目標】 歯科材料・歯科生体材料を理解するために、それらの物理的および力学的性質について学習する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 金属材料、高分子材料、セラミック材料および複合材料の種類と性質について説明できる。 2. 歯科生体材料の物理的および力学的性質について説明できる。 3. 応力-ひずみ曲線について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：SBOsについて教科書を確認する。 事前学修時間：30分 事後学修項目：確認テストおよびその解説内容を整理する。 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 セ 歯科材料・機器 a 基本的性質</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅷ 歯科材料と歯科医療機器 1 生体材料の科学 イ 材料の性質 a 物理的性質 b 機械的性質</p>	谷本 安浩
2020/04/03(金) 1時限 09:10~10:10	細胞および上皮組織の構造	<p>【授業の一般目標】 人体の構造を理解するために、細胞と上皮組織の構造について習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 真核細胞の構造を説明できる。 2. 核の構造を説明できる。 3. 細胞小器官を列挙し、それぞれの特徴を説明できる。 4. 細胞死の種類を列挙し、それぞれの特徴を説明できる。 5. 上皮組織を分類し、それぞれの形態学的特徴と存在部位について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：細胞の構造、上皮組織の構造 事前学習時間：30分 事後学修項目：細胞の構造、上皮組織の構造について配布プリントおよび確認試験にて復習 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無</p>	玉村 亮

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/04/03 (金) 1時限 09:10～10:10	細胞および上皮組織の構造	<p>学修媒体等：プリント配布, PPTスライド</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 d 組織 (上皮組織、結合 (支持) 組織 (血液を含む)、筋組織、神経組織)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 c 細胞・細胞小器官の構造と機能</p>	玉村 亮
2020/04/06 (月) 1時限 08:40～09:40	生体を構成する基本物質	<p>【授業の一般目標】 身体を構成する基本物質を理解するために、タンパク質・炭水化物・脂質等の構造や特徴を学ぶ。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. タンパク質を構成するアミノ酸の構造と性状を説明できる。 2. 炭水化物の種類と特徴を説明できる。 3. 脂質の構造と特徴を説明できる。 4. ビタミンの種類とその欠乏症を説明できる。 5. エネルギー代謝経路を説明できる。 6. 脱アミノ反応、<math>\beta</math>酸化、オルニチン回路を説明できる。 7. 酵素の特徴を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：既に配布されてるプリントを見直し不明な点を探しておくこと。 事前学修時間：1時間 事後学修項目：確認試験と解説. 配布したプリントの見直し。 事後学修時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング；無 プリント配布</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 a 生体構成成分の構造・機能</p>	平塚 浩一
2020/04/07 (火) 1時限 08:40～09:40	歯の解剖学	<p>【授業の一般目標】 歯の種類とその形態的特徴を学ぶ。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯の種類と記号を説明できる。 2. 永久歯の形態的特徴を説明できる。 3. 乳歯の形態的特徴を説明できる。 4. 歯種の鑑別ができる。 5. 歯の異常を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：歯の模型で歯冠の形、歯根の形と数を観察する。 ・事前学修時間：45分 ・事後学習項目：歯の種類とそれぞれの形態的特徴を覚える。 ・事後学習時間：45分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無 必要に応じてスライドの提示, 資料配布</p> <p>講義で歯の模型(歯根付き)を使用するので各自持参すること。</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系 (骨格系 (関節を含む)、筋系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、消化器系 (歯および唾液腺を含む)、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 5 歯と歯周組織の構造 ア 歯の形態</p>	佐々木 佳世子 松野 昌展

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/04/07 (火) 1時限 08:40～09:40	歯の解剖学	a 基本事項 b 乳歯 c 永久歯 d 特殊な形態	佐々木 佳世子 松野 昌展
2020/04/08 (水) 1時限 08:40～09:40	歯科疾患の予防・管理 ①	<p>【授業の一般目標】 適切な健康管理、増進を行うために、齲蝕の予防・管理について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 齲蝕の病因について説明できる。 2. 齲蝕活動性試験・評価について説明できる。 3. 代用甘味料について説明できる。 4. 齲蝕の予防手段について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：齲蝕の予防・管理について、国家試験過去問を学修すること。 事前学修時間：60分 事後学修項目：齲蝕の予防・管理について、講義で得られた知識を定着させること。 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無 学修媒体 マルチメディア/資料配布</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 イ 歯の硬組織疾患の予防・管理 a 齲蝕の予防・管理</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 イ 歯の硬組織疾患の予防・管理 c 初期齲蝕の診断 d フッ化物応用 b 齲蝕の予防効果の評価</p>	田口 千恵子
2020/04/09 (木) 1時限 08:40～09:40	自然免疫と獲得免疫	<p>【授業の一般目標】 感染防御における免疫のしくみを理解するために、免疫機構の概要に関する知識を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 免疫担当臓器、細胞について説明できる。 2. 自然免疫について説明できる。 3. 獲得免疫について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：免疫組織及び担当臓器、自然免疫に関与する細胞・分子、獲得免疫 (体液性免疫、細胞性免疫) について学修しておく。 事前学修時間：60分 事後学修項目：教科書、講義プリントの内容の復習 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布、チェックテスト</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 f 免疫 (免疫担当細胞、自然免疫、体液性免疫、細胞性免疫、粘膜免疫)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 3 免疫 ア 免疫系担当臓器・細胞 イ 抗原処理と抗原提示 ウ 自然免疫 a 体液性免疫 b 細胞性免疫</p>	落合 智子
2020/04/10 (金) 1時限 08:40～09:40	自律神経の生理	<p>【授業の一般目標】 生体の神経性調節を理解するために、自律神経の機能を学ぶ。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 自律神経の特徴を説明できる。 2. 神経伝達物質を列挙できる。</p>	吉垣 純子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/04/10 (金) 1時限 08:40～09:40	自律神経の生理	<p>3. 各臓器における自律神経の調節機能を説明できる。 4. 自律機能の中枢を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：神経の解剖学的走行について確認しておく。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：練習問題の解説を作成する。 ・事後学修時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 プリントの配布、チェックテストの実施</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系（骨格系（関節を含む）、筋系、呼吸器系、循環器系（脈管系）、消化器系（歯および唾液腺を含む）、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系）</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 1 細胞・組織・器官の構造と機能 キ 神経系 d 自律機能</p>	吉垣 純子
2020/04/14 (火) 1時限 08:40～09:40	結合（支持）組織の構造	<p>【授業の一般目標】 人体の構造を理解するために、結合組織、軟骨組織の構造について習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 結合組織の分類を説明できる。 2. 結合組織を構成する線維を説明できる。 3. 結合組織に存在する細胞を説明できる。 4. 軟骨組織を分類し、それぞれの組織学的特徴および存在部位を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：結合組織、軟骨組織の構造 事前学修時間：30分 事後学修項目：結合組織、軟骨組織の構造について配布プリントおよび確認試験にて復習 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体等：プリント配布、PPTスライド</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 d 組織（上皮組織、結合（支持）組織（血液を含む）、筋組織、神経組織）</p>	玉村 亮
2020/04/15 (水) 1時限 08:40～09:40	医療面接と診療録記載	<p>【授業の一般目標】 適切な医療を行うために、医療面接の技法およびPOSに基づく問題指向型診療録（POMR）の記載方法を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 医療面接における質問法を説明できる。 3. 医療面接の目的を説明できる。 4. 非言語的コミュニケーションについて説明できる。 5. 面接者の適切な態度について説明できる。 6. POMRの構成要素を説明できる。 7. POMRの記載方法を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：医療面接（質問法、医療者の態度、非言語的メッセージ） 診療録記載（POMR、SOAP） ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布の確認シートを用いたレビュー ・事後学修時間：15分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：マルチメディア、配布資料</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p>	*多田 充裕



日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/04/17 (金) 1時限 08:40～09:40	薬理作用・薬物療法	<p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 コ 薬物療法 a 薬理作用（薬力学、主作用および副作用を含む）</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 8 薬物療法 ア 薬物の選択 b 薬効 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 コ 薬物療法 c 薬物投与（連用および併用を含む） 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 8 薬物療法 ア 薬物の選択 a 薬物療法の種類と特徴 b 用量と反応</p>	松本 裕子
2020/04/18 (土) 1時限 08:40～10:30	先天異常・奇形	<p>【授業の一般目標】 病因・病態を理解するために、先天異常及び奇形に関する病理学的知識について学修する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 以下の行動目標とその教授内容は基礎歯科医学教育及び臨床経験に基づいている。 2. 先天異常を分類できる。 3. 遺伝障害について説明できる。 4. 胎児障害について説明できる。 5. 奇形の成り立ちについて説明できる。 6. 口腔・顎・顔面領域の代表的な先天性疾患の特徴について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目： ・遺伝障害 ・胎児障害 ・症候群、特に色素沈着を認めるものと腫瘍を随伴するもの 事前学修時間：30分 事後学修項目： ・先天異常・奇形：確認試験及び解説 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし マルチメディア</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 7 主要な疾患と障害の病因・病態 ア 疾病の概念 b 先天異常</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 2 口腔・顎顔面領域の疾患の病因・病態 ア 主な病因・病態 a 先天異常 g 口腔・顎顔面領域に症状を伴う全身疾患</p>	*宇都宮 忠彦
2020/04/20 (月) 1時限 08:40～09:40	エネルギー代謝とホメオスタシス	<p>【授業の一般目標】 エネルギー代謝を理解するために、ATP合成経路と恒常性を学ぶ。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. エネルギー代謝経路を説明できる。 2. 脱アミノ反応、β酸化、オルニチン回路を説明できる。 3. 酵素の特徴を説明できる。 4. 血糖値の調節を説明できる。 5. 血中カルシウム濃度の調節を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：既に配布されているプリントを見直し不明な点を探しておくこと。 事前学修時間：1時間 事後学修項目：確認試験と解説. 配布したプリントの見直し。 事後学修時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 プリント配布</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p>	平塚 浩一

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/04/20 (月) 1時限 08:40～09:40	エネルギー代謝と ホメオスタシス	<p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 a 生体構成成分の構造・機能</p>	平塚 浩一
2020/04/21 (火) 1時限 08:40～09:40	頭蓋冠・頭蓋底	<p>【授業の一般目標】 頭蓋骨の構造を理解するために頭蓋冠、頭蓋底を構成する各骨を説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 頭蓋冠の構造を説明できる。 2. 蝶形骨の構造を説明できる。 3. 側頭骨の構造を説明できる。 4. 後頭骨の構造を説明できる。 5. 前頭骨の構造を説明できる。 6. 頭蓋冠の縫合を説明できる。 7. 頭蓋底の構造を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：頭蓋骨を構成する骨15種23個の名称を復習する。 ・事前学修時間： 30分 ・事後学修項目：配布プリントを熟読する。 ・事後学修時間： 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 頭蓋骨模型を用いて学習内容を各自が確認する。</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 イ 頭頸部の骨格系 a 頭蓋</p>	五十嵐 由里子
2020/04/22 (水) 1時限 08:40～09:40	歯科疾患の予防・ 管理 ②	<p>【授業の一般目標】 歯科疾患の予防・管理を行うために、歯周疾患の予防・管理、歯・口腔の不潔、機能・育成について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 歯周疾患の病因について説明できる。 2. 歯周疾患のリスク因子について説明できる。 3. 歯周疾患の予防手段について説明できる。 4. 歯の沈着物について説明できる。 5. 口腔ケアについて説明できる。 6. ライフステージにおける保健指導について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：歯周疾患の予防、歯の沈着物に関して学修しておく。 ・事前学修時間： 60分 ・事後学修項目：配布資料を軸に、歯周疾患の予防、歯の沈着物、口腔ケア、ライフステージにおける保健指導を整理する。 ・事後学修時間： 60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無 学修媒体 マルチメディア/配布資料/教科書</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 イ 歯周疾患の予防・管理 a 歯肉炎の予防・管理</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 イ 歯周疾患の予防・管理 c 予防効果の評価 b 歯周炎の予防・管理</p>	田口 千恵子
2020/04/23 (木) 1時限 08:40～09:40	感染の成立と発症	<p>【授業の一般目標】 微生物による感染症を理解するために、感染の成立から疾患を発症するまでの過程と病原因子について学修する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 感染経路と感染成立までの過程を説明できる。 2. 感染の種類と病原因子を説明できる。 3. 細菌性食中毒を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：感染成立までの過程、感染経路について学修しておく。</p>	栗原 紀子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/04/23 (木) 1時限 08:40～09:40	感染の成立と発症	<ul style="list-style-type: none"> <li>事前学修時間：60分</li> <li>事後学修項目：授業内容の復習</li> <li>事後学修時間：60分</li> </ul> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布、チェックテスト</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 1 病因、病態 カ 感染症 b 病原微生物</p>	栗原 紀子
2020/04/24 (金) 1時限 08:40～09:40	内分泌の生理	<p>【授業の一般目標】 ホルモンの役割と分泌制御機構を理解し、内分泌異常について説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 内分泌と外分泌の違いを説明できる。 2. ホルモンの種類と受容体を説明できる。 3. 内分泌による糖代謝調節を説明できる。 4. 内分泌によるカルシウム代謝調節を説明できる。 5. 内分泌による体液調節を説明できる。 6. 内分泌における視床下部の役割を説明できる。 7. ストレス応答における内分泌の役割を説明できる。 8. 内分泌異常の原因を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：内分泌器官と分泌されるホルモンの名称を復習しておく。 ・準備学修時間：1時間 ・事後学修項目：練習問題の解説を作成する。 ・事後学修時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 WebClassによる演習，マルチメディア</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 1 細胞・組織・器官の構造と機能 ク 内分泌系 a 内分泌器官</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 1 細胞・組織・器官の構造と機能 ク 内分泌系 b ホルモンの合成、分泌・作用</p>	吉垣 純子
2020/04/28 (火) 1時限 08:40～09:40	結合（支持）組織、 造血組織の構造	<p>【授業の一般目標】 人体の構造を理解するために、骨組織と血液の成分、骨髄の構造について習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 骨組織に存在する細胞を列挙し、その構造と特徴を説明できる。 2. 骨組織の基本構造について説明できる。 3. 骨化様式および骨改造現象について説明できる。 4. 血液の成分を列挙し、それぞれの特徴を説明できる。 5. 骨髄の構造と特徴を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：骨組織と血液の成分、骨髄の構造 事前学修時間：30分 事後学修項目：骨組織と血液の成分、骨髄の構造について配布プリントおよび確認試験にて復習 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体等：プリント配布，PPTスライド</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能</p>	玉村 亮

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/04/28 (火) 1時限 08:40～09:40	結合(支持)組織、 造血組織の構造	d 組織 (上皮組織、結合(支持)組織(血液を含む)、筋組織、神経組織)  【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 1 細胞・組織・器官の構造と機能 オ 造血器系 a 骨髄	玉村 亮
2020/04/30 (木) 1時限 08:40～09:40	合着・接着用材料、 成形修復材料	【授業の一般目標】 合着・接着用材料および成形修復材料を理解するために、それらの基本的性質について学習する。  【行動目標(SBOs)】 1.合着・接着用材料の種類、組成および性質について説明できる。 2.成形修復材料の種類、組成および性質について説明できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：SBOsについて教科書を確認する。 事前学修時間：60分 事後学修項目：確認テストおよびその解説内容を整理する。 事後学修時間：60分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布  【学修方略(LS)】 講義  【場所(教室/実習室)】 400教室  【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 12 治療の基礎・基本手技 セ 歯科材料・機器 h 接着用材料、接着処理  【国家試験出題基準(副)】 必修の基本的事項 12 治療の基礎・基本手技 セ 歯科材料・機器 e 成形修復・予防填塞・歯内療法用材料	岩崎 太郎
2020/05/01 (金) 1時限 13:00～15:00	薬物の作用部位・ 作用機序	【授業の一般目標】 薬物療法を理解するために、薬物の作用部位・作用機序に関する知識を習得する。  【行動目標(SBOs)】 1.G蛋白質共役型受容体に作用する薬物を列挙し、その特徴を説明できる。 2.イオンチャンネル内臓型受容体に作用する薬物を列挙し、その特徴を説明できる。 3.酵素(キナーゼ)内臓型受容体に作用する薬物を列挙し、その特徴を説明できる。 4.細胞質、核内受容体に作用する薬物を列挙し、その特徴を説明できる。 5.トランスポーターを阻害する薬物を列挙し、その特徴を説明できる。 6.酵素阻害作用を有する薬物を列挙し、その特徴を説明できる。 7.化学的・物理化学的機序を有する薬物を列挙し、その特徴を説明できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：「薬物の作用部位・作用機序」に関連する歯科医師国家試験過去問を解き、何が理解できていないか確認する。 ・事前学修時間：60分 ・事後学修項目：確認試験と解説。授業時配布プリントの内容確認と整理。 ・事後学修時間：60分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ・アクティブラーニング：無 ・学修媒体：マルチメディア、プリント配布  【学修方略(LS)】 講義  【場所(教室/実習室)】 400教室  【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 12 治療の基礎・基本手技 コ 薬物療法 a 薬理作用(薬力学、主作用および副作用を含む)  【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 8 薬物療法 ア 薬物の選択 b 薬効	松本 裕子
2020/05/07 (木) 1時限 09:00～11:00	免疫異常(免疫不全、アレルギー、自己免疫疾患)	【授業の一般目標】 免疫疾患を理解するために、免疫異常(免疫不全、アレルギー、自己免疫疾患)に関する知識を習得する。  【行動目標(SBOs)】	落合 智子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/05/07 (木) 1時限 09:00～11:00	免疫異常 (免疫不全、アレルギー、自己免疫疾患)	<p>1. 免疫不全について説明できる。 2. アレルギーの種類、発症機序を説明できる。 3. 自己免疫疾患の種類、発症機序を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：免疫不全の種類、アレルギーの種類、発症機序、自己免疫疾患の種類、発症機序を学修しておく。 準備学修時間：60分 事後学修項目：教科書、講義プリントの内容の復習 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布、チェックテスト</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 1 病因、病態 キ 免疫疾患 a 概念</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 1 病因、病態 キ 免疫疾患 b 免疫不全 c 自己免疫疾患 d アレルギー反応 (過敏症)</p>	落合 智子
2020/05/08 (金) 1時限 09:00～11:00	循環調節の生理	<p>【授業の一般目標】 循環器の役割を理解し、循環調節を説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 心臓の構造を説明できる。 2. 刺激伝導系の構成と役割を説明できる。 3. 体循環と肺循環の経路と違いを説明できる。 4. 血管の種類と構造を説明できる。 5. 心電図の意味を説明できる。 6. 血圧の調節機構を説明できる。 7. 循環器の加齢変化を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：血液・血球の役割を復習しておく。 ・準備学修時間：1時間 ・事後学修項目：練習問題の解説を作成する。 ・事後学修時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 WebClassによる演習，マルチメディア</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 1 細胞・組織・器官の構造と機能 ウ 呼吸器・循環器系 b 心臓、脈管系</p>	吉垣 純子
2020/05/11 (月) 1時限 09:00～11:00	情報伝達と骨代謝	<p>【授業の一般目標】 骨リモデリング機構を理解するためにカルシウム調節機構と骨芽細胞、破骨細胞の情報伝達の仕組みと働きを学習する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. カルシウム代謝に関連するホルモンとその働きを説明できる。 2. 骨芽細胞と破骨細胞の特徴を説明できる。 3. 骨吸収因子と骨形成因子を列挙できる。 4. 骨リモデリングに関与する骨芽細胞と破骨細胞の動きを説明できる。 5. 大理石病や閉経後骨粗鬆症の原因を説明できる。 6. 細胞周期の概念を説明できる。 7. 情報伝達物質の種類と受容体の関係を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：2年時配布したプリントを見直しておくこと。 事前学修時間：1時間 事後学修項目：確認試験と解説、配布プリントの見直し。 事後学修時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学習媒体：授業プリント</p>	平塚 浩一

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/05/11 (月) 1時限 09:00～11:00	情報伝達と骨代謝	<p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 9 口腔・顎顔面の発生・成長・発育 ウ 骨組織代謝 b 形成、吸収、改造&lt;リモデリング&gt;</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 9 口腔・顎顔面の発生・成長・発育 ウ 骨組織代謝 c 石灰化機構</p>	平塚 浩一
2020/05/12 (火) 1時限 09:00～11:00	骨と筋	<p>【授業の一般目標】 眼窩、鼻腔、顎骨の構成、咀嚼筋・表情筋・舌骨上筋群の起始停止・作用・支配神経を説明できる。</p> <p>【行動目標 (S B O s)】 1. 上顎骨周囲を構成する骨の名称と構造を説明できる。 2. 下顎骨の構造を説明できる。 3. 鼻腔を構成する骨の名称と構造を説明できる。 4. 眼窩を構成する骨の名称と構造を説明できる。 5. 咀嚼筋の名称・起始停止・作用・支配神経を説明できる。 6. 表情筋 (頬筋) の起始停止・作用・支配神経を説明できる。 7. 舌骨上筋群の起始停止・作用・支配神経を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：頭蓋骨を構成する骨15種23個の名称を復習する。 ・事前学修時間： 30分 ・事後学習項目：配布プリントを熟読する。 ・事後学習時間： 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 頭蓋骨模型を用いて学習内容を各自が確認する。</p> <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 イ 頭頸部の骨格系 a 頭蓋</p>	五十嵐 由里子
2020/05/13 (水) 1時限 09:00～11:00	保健医療総論①	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として必要な法と制度を学び、社会において医療従事者としての役割と責任について理解し修得する。</p> <p>【行動目標 (S B O s)】 1. 以下の行動目標及び講義内容は臨床経験に基づいている。 2. 1. 社会保障の定義と制度体系について説明できる。 3. 2. 保健、医療、福祉 (介護を含む) の各制度について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：社会保障制度 事前学修時間：180分 事後学修項目：社会保障制度 事後学修時間：180分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無</p> <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 4 社会保障と医療経済 ア 社会保障と医療経済 a 社会保障制度</p>	*有川 量崇
2020/05/14 (木) 1時限 09:00～11:00	循環障害・退行性病変	<p>【授業の一般目標】 病因と病態を理解するために、循環障害及び退行性病変に関する病理学的知識を修得する。</p> <p>【行動目標 (S B O s)】 1. 以下の行動目標とその教授内容は基礎歯科医学教育及び臨床経験に基づいている。 2. 循環血液量の異常を列挙し、その病理学的特徴について説明できる。</p>	*宇都宮 忠彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/05/14 (木) 1時限 09:00～11:00	循環障害・退行性病変	<p>3. 閉塞性循環障害を列挙し、その病理学的特徴について説明できる。</p> <p>4. ショックの分類と病理学的特徴について述べるができる。</p> <p>5. 側副循環の異常について解説できる。</p> <p>6. 浮腫の成り立ちや病態について説明できる。</p> <p>7. 萎縮の分類と代表的疾患について説明できる。</p> <p>8. 変性の分類と代表的疾患について解説できる。</p> <p>9. 細胞死（壊死、アポトーシス）について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：・循環血液量の異常（充血、うっ血、虚血、出血、側副循環の異常、ショック） ・閉塞性循環障害（血栓、塞栓、梗塞、DIC）・萎縮、変性、壊死の特徴 事前学習時間：30分 事後学修項目：・循環傷害と退行性病変：確認試験と解説 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし マルチメディア</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 7 主要な疾患と障害の病因・病態 ア 疾病の概念 h 循環障害</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 7 主要な疾患と障害の病因・病態 ア 疾病の概念 i 代謝障害、萎縮、壊死</p>	*宇都宮 忠彦
2020/05/15 (金) 1時限 09:00～11:00	適用方法、薬物動態	<p>【授業の一般目標】 薬物療法を理解するために、適用方法、薬物動態に関する知識を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 適用方法の種類と特徴を説明できる。 2. 吸収、分布、代謝、排泄を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：「適用方法、薬物動態」に関連する歯科医師国家試験過去問を解き、何が理解できていないか確認する。 ・事前学修時間：60分 ・事後学修項目：確認試験と解説。授業時配布プリントの内容確認と整理。 ・事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ・アクティブラーニング：無 ・学修媒体：マルチメディア、プリント配布</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 12 治療の基礎・基本手技 コ 薬物療法 b 薬物動態</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 8 薬物療法 ア 薬物の選択 c 薬物動態 a 投与経路と剤形の種類と特徴</p>	松本 裕子
2020/05/19 (火) 1時限 09:00～11:00	エナメル質、セメント質および象牙質・歯髄複合体の構造	<p>【授業の一般目標】 人体の構造を理解するために、エナメル質、セメント質および象牙質・歯髄複合体の構造を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. エナメル質、セメント質および象牙質・歯髄複合体の構造を説明できる。 2. エナメル質、セメント質および象牙質の成長線を説明できる。 3. エナメル質、セメント質および象牙質・歯髄複合体の加齢変化を説明できる。 4. 歯髄を構成する細胞成分および線維成分を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：エナメル質、セメント質および象牙質・歯髄複合体の構造 事前学習時間：30分 事後学修項目：エナメル質、セメント質および象牙質・歯髄複合体の構造について配布プリントおよび確認試験にて復習 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無</p>	玉村 亮

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/05/19 (火) 1時限 09:00～11:00	エナメル質、セメント質および象牙質・歯髄複合体の構造	<p>学修媒体等：プリント配布，PPTスライド</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 5 歯と歯周組織の構造 イ 組織と性状 a エナメル質、象牙質、歯髄</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 5 歯と歯周組織の構造 イ 組織と性状 b 歯周組織</p>	玉村 亮
2020/05/20 (水) 1時限 09:00～11:00	保健医療総論②	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として必要な法と制度を学び、社会において医療従事者としての役割と責任について理解し修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 以下の行動目標及び講義内容は臨床経験に基づいている。 2. 歯科医師法等歯科医師の法的義務について説明できる。 3. 医療関係職種各身分に関する関係法規について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：歯科医師法他医療関係職種各身分法 事前学修時間：180分 事後学修項目：歯科医師法他医療関係職種各身分法 事後学修時間：180分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 イ 保健・医療・福祉・介護の制度と医療経済 a 歯科医師法、歯科衛生士法、歯科技工士法</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 3 チーム医療 ア チーム医療の意義 a 多職種連携 b 医科歯科連携 c 病診連携 d 医療チームの構成員と役割</p>	*有川 量崇
2020/05/21 (木) 1時限 09:00～11:00	病原微生物と感染症① (変更 13:00～16:00)	<p>【授業の一般目標】 微生物感染症について理解するために、感染症の種類と起因する微生物について学修する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 細菌感染症の種類と起因する細菌を説明できる 2. 真菌感染症の種類と起因する真菌を説明できる。 3. 原虫感染症の種類と起因する原虫を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：病原微生物と関与する感染症について学修しておく。 事前学修時間：60分 事後学修項目：授業内容の復習 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：マルチメディア、プリント、チェックテスト</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 1 病因、病態 カ 感染症 b 病原微生物</p>	*齋藤 真規
2020/05/22 (金)	呼吸調節の生理	<p>【授業の一般目標】</p>	吉垣 純子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
1時限 09:00～11:00	呼吸調節の生理	<p>呼吸の調節機構を理解するために、呼吸器の構成と酸素運搬機構を学ぶ。</p> <p><b>【行動目標（SBOs）】</b>  1. 外呼吸と内呼吸を説明できる。  2. 呼吸筋とその役割を列挙できる。  3. 肺気量の種類を説明できる。  4. ヘモグロビンの酸素解離曲線を説明できる。  5. 血漿pHにおける重炭酸緩衝系の役割を説明できる。  6. 血漿pHの異常と成因を説明できる。  7. 呼吸機能の加齢変化を説明できる。</p> <p><b>【準備学修項目と準備学修時間】</b>  ・準備学修項目：呼吸器の構造を理解しておく。  ・準備学修時間：1時間  ・事後学修項目：練習問題の解説を作成する。  ・事後学修時間：1時間</p> <p><b>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</b>  アクティブラーニング：有  WebClassによる演習，マルチメディア</p> <p><b>【学修方略（LS）】</b>  講義</p> <p><b>【場所（教室/実習室）】</b>  400教室</p> <p><b>【国家試験出題基準（主）】</b>  歯科医学総論  総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢  1 細胞・組織・器官の構造と機能  ウ 呼吸器・循環器系  a 気道、肺、呼吸筋</p>	吉垣 純子
2020/05/25（月） 1時限 09:00～11:00	炎症と細胞外基質	<p><b>【授業の一般目標】</b>  炎症の発症と細胞外基質の役割を理解するために、炎症性ケミカルメディエーターと外基質の種類と特徴を学ぶ。</p> <p><b>【行動目標（SBOs）】</b>  1. 細胞外基質を列挙できる。  2. 細胞接着配列を説明できる。  3. コラーゲン・ラミニン・プロテオグリカンの違いを説明できる。  4. コラーゲンの合成過程および分解過程を説明できる。  5. MMPの種類と特徴を説明できる。  6. 炎症性ケミカルメディエーターの種類を列挙できる。  7. アミン類やキニン類の合成と特徴を説明できる。  8. サイトカインの定義と種類を説明できる。  9. エイコサノイドおよびPAFの合成を説明できる。</p> <p><b>【準備学修項目と準備学修時間】</b>  事前学修項目：2年時・4年時に配布したプリントを見直しておくこと。  事前学修時間：1時間  事後学修項目：確認試験と解説。配布プリントの見直し。  事後学修時間：1時間</p> <p><b>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</b>  アクティブラーニング：無  プリント配布</p> <p><b>【学修方略（LS）】</b>  講義</p> <p><b>【場所（教室/実習室）】</b>  400教室</p> <p><b>【国家試験出題基準（主）】</b>  必修の基本的事項  7 主要な疾患と障害の病因・病態  ア 疾病の概念  d 炎症</p> <p><b>【国家試験出題基準（副）】</b>  必修の基本的事項  5 人体の正常構造・機能  ア 全身・口腔の構造と機能  d 組織（上皮組織、結合（支持）組織（血液を含む）、筋組織、神経組織）  7 主要な疾患と障害の病因・病態  ア 疾病の概念  d 炎症  歯科医学総論  総論Ⅲ 病因、病態  1 病因、病態  オ 炎症  a 概念</p>	平塚 浩一
2020/05/26（火） 1時限 09:00～11:00	骨と神経・脈管	<p><b>【授業の一般目標】</b>  頭蓋骨を構成する骨・脳神経の通路・外頸動脈の枝の通路を説明できる。</p> <p><b>【行動目標（SBOs）】</b>  1. 頭蓋骨を構成する骨の名称と構造を説明できる。  2. 脳神経の通路と脳神経が通る頭骨の孔を説明できる。  3. 外頸動脈の枝の通路と頸動脈が通る頭骨の孔を説明できる。  4. 翼口蓋窩と構造が説明できる。</p> <p><b>【準備学修項目と準備学修時間】</b>  ・事前学修項目：脳神経と頸動脈が通る頭骨の孔を復習する。</p>	五十嵐 由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/05/26 (火) 1時限 09:00～11:00	骨と神経・脈管	<ul style="list-style-type: none"> <li>事前学修時間：30分</li> <li>事後学習項目：配布プリントを熟読する。</li> <li>事後学修時間：30分</li> </ul> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 各自が頭蓋骨模型を用いて学習項目を確認する。</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系（骨格系（関節を含む）、筋系、呼吸器系、循環器系（脈管系）、消化器系（歯および唾液腺を含む）、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系）</p>	五十嵐 由里子
2020/05/27 (水) 1時限 09:00～11:00	保健医療総論③	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として必要な法と制度を学び、社会において医療従事者としての役割と責任について理解し修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 以下の行動目標及び講義内容は臨床経験に基づいている。 2. 我が国の社会保障制度を踏まえた医療保険制度を説明できる。 3. 医療保険制度における医療費の動向を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：医療保険制度、医療経済 事前学修時間：180分 事後学修項目：医療保険制度、医療経済 事後学修時間：180分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 イ 保健・医療・福祉・介護の制度と医療経済 h 国民医療費、社会保障費</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論 I 保健・医療と健康増進 4 社会保障と医療経済 ア 社会保障と医療経済 b 医療保険、介護保険 c 医療経済と国民医療費</p>	*有川 量崇
2020/05/28 (木) 1時限 09:00～11:00	印象材、模型材、ワックス、鑄造の要点、埋没材	<p>【授業の一般目標】 精度の良い鑄造体を作製するための方法を理解するために、印象材、模型材、ワックス、埋没材および歯科精密鑄造について学習する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 印象材の種類、組成および性質について説明できる。 2. 歯科用石膏の種類、組成および性質について説明できる。 3. 歯科用ワックスの種類、組成および性質について説明できる。 4. ワックスパターンの変形の原因およびその対策について説明できる。 5. 鑄造用埋没材の種類、組成および性質について説明できる。 6. 歯科精密鑄造の原理と鑄造欠陥の発生原因およびその対策について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：SBOsについて教科書を確認する。 事前学修時間：60分 事後学修項目：確認テストおよびその解説内容を整理する。 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 12 治療の基礎・基本手技 セ 歯科材料・機器 c 印象用材料</p> <p>【国家試験出題基準（副）】</p>	谷本 安浩

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/05/28 (木) 1時限 09:00～11:00	印象材、模型材、 ワックス、鋳造の 要点、埋没材	歯科医学総論 総論Ⅷ 歯科材料と歯科医療機器 4 模型用材料、ワックス ア 歯科用石膏 a 普通石膏、硬質石膏、超硬質石膏 7 成形技術・機器 ウ 金属の成形技術・機器 a 鋳造工程 b 石膏系埋没材、リン酸塩系埋没材 c 鋳造精度、鋳造欠陥	谷本 安浩
2020/05/29 (金) 1時限 09:00～11:00	鎮痛薬、抗炎症薬、 止血薬、抗血栓薬	【授業の一般目標】 薬物療法を理解するために、鎮痛薬、抗炎症薬、止血薬、抗血栓薬に関する知識を習得する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 麻薬性・非麻薬性鎮痛薬を列挙し、作用機序、副作用を説明できる。 2. ステロイド性抗炎症薬を列挙し、作用機序、副作用を説明できる。 3. 非ステロイド性抗炎症薬を列挙し、作用機序、副作用を説明できる。 4. 抗アレルギー薬を列挙し、作用機序、副作用を説明できる。 5. 止血薬、抗血栓薬を列挙し、作用機序、副作用を説明できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：「鎮痛薬、抗炎症薬、止血薬、抗血栓薬」に関連する歯科医師国家試験過去問を解き、何が理解できていないか確認する。 ・事前学修時間：60分 ・事後学修項目：確認試験と解説。授業時配布プリントの内容確認と整理。 ・事後学修時間：60分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ・アクティブラーニング：無 ・学修媒体：マルチメディア、プリント配布  【学修方略 (LS)】 講義  【場所 (教室/実習室)】 400教室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 8 薬物療法 ウ 疾患に応じた薬物 治療 a 鎮痛薬  【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 8 薬物療法 ウ 疾患に応じた薬物 治療 b 抗炎症薬 f 止血薬、抗血栓薬	松本 裕子
2020/05/30 (土) 1時限 09:00～11:00	進行性病変・炎症	【授業の一般目標】 病因・病態を理解するために、進行性病変及び炎症に関する病理学的知識について学ぶ。  【行動目標 (SBOs)】 1. 以下の行動目標とその教授内容は基礎歯科医学教育及び臨床経験に基づいている。 2. 肥大、過形成(増生)、化生について分類し、説明できる。 3. 再生の基本について解説できる。 4. 創傷治癒と異物処理について解説できる。 5. 炎症の定義を述べることができる。 6. 急性炎症と慢性炎症の特徴及び相違点を解説できる。 7. 炎症の病理組織学的分類と特徴について説明できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：・肥大・過形成、再生、化生の特徴 ・創傷治癒機序、物の処理機構 ・炎症の分類と病理学的特徴 事前学修時間：30分 事後学修項目：・進行性病変と炎症：確認試験・解説 事後学修時間：30分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし マルチメディア  【学修方略 (LS)】 講義  【場所 (教室/実習室)】 400教室  【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 7 主要な疾患と障害の病因・病態 ア 疾病の概念 j 病的増殖  【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 7 主要な疾患と障害の病因・病態 ア 疾病の概念	*宇都宮 忠彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/05/30 (土) 1時限 09:00～11:00	進行性病変・炎症	d 炎症	*宇都宮 忠彦
2020/06/02 (火) 1時限 09:00～11:00	口腔粘膜および唾液腺の構造	<p>【授業の一般目標】 人体の構造を理解するために、口腔粘膜および唾液腺の構造を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 口腔粘膜の構造を説明できる。 2. 口腔粘膜の機能的分類とそれぞれの特徴や該当部位を説明できる。 3. 唾液腺の構造を説明できる。 4. 口腔粘膜および唾液腺の加齢変化を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：口腔粘膜および唾液腺の構造 事前学修時間：30分 事後学修項目：口腔粘膜および唾液腺の構造について配布プリントおよび確認試験にて復習 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体等：プリント配布, PPTスライド</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 オ 頭頸部の内臓系 a 口腔</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 1 細胞・組織・器官の構造と機能 ア 皮膚・粘膜系 a 表皮、上皮、真皮、粘膜固有層、皮下組織、粘膜下組織 4 頭頸部の構造 オ 頭頸部の内臓系 b 唾液腺</p>	玉村 亮
2020/06/03 (水) 1時限 09:00～11:00	健康管理・増進と予防①	<p>【授業の一般目標】 適切な健康管理を行うために、感染症対策、国民栄養・食品保健および環境保健について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 環境保健について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：健康管理・増進と予防のために環境保健について概説できる。 事前学修時間：60分 事後学修項目：健康管理・増進と予防のために環境保健について説明できる。 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布、チェックテスト</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 9 環境保健 ア 環境保健対策 c 環境汚染、公害の発生要因・健康影響</p>	後藤田 宏也
2020/06/04 (木) 1時限 09:00～11:00	病原微生物と感染症②	<p>【授業の一般目標】 口腔と全身に関するウイルス感染症を理解するために、感染症と起因する病原体について学修する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ウイルスの基本構造と性状および増殖様式を説明できる。 2. ウイルス感染症と起因となるウイルスの性状を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：口腔と全身に関するウイルス感染症について予習する。 事前学修時間：60分 事後学修項目：ウイルス感染症と起因する病原体について復習する。 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：なし 学修媒体：メディア、プリント配布</p>	栞原 紀子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/06/04 (木) 1時限 09:00～11:00	病原微生物と感染症②	<p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 1 病因、病態 カ 感染症 b 病原微生物</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 1 病因、病態 カ 感染症 c 感染症</p>	栗原 紀子
2020/06/05 (金) 1時限 09:00～11:00	興奮性細胞の生理 (変更 13:00～16:00)	<p>【授業の一般目標】 神経と筋肉の動きを理解するために、膜電位と興奮伝導・伝達メカニズムを学ぶ。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 静止膜電位の成立機構を説明できる。 2. 活動電位の発生メカニズムを説明できる。 3. 神経、骨格筋、心筋の活動電位の違いを説明できる。 4. 細胞外電極法と細胞内電極法を説明できる。 5. 神経線維の種類と役割を説明できる。 6. 興奮伝達のメカニズムを説明できる。 7. 主な神経節の名称と役割を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：細胞内外のイオン組成を復習しておく。チャンネルとポンプの役割を理解しておく。 ・準備学修時間：1時間 ・事後学修項目：練習問題の解説を作成する。 ・事後学修時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 WebClassを用いた演習，マルチメディア</p> <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 1 細胞・組織・器官の構造と機能 キ 神経系 a ニューロン、グリア</p>	吉垣 純子
2020/06/08 (月) 1時限 09:00～11:00	歯と歯周組織および唾液の構成成分	<p>【授業の一般目標】 口腔の機能を理解するために、歯と唾液および歯周組織の特徴を学ぶ。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. エナメル質の無機質・有機質の種類と特徴を説明できる。 2. 象牙質の有機質の種類とその特徴を説明できる。 3. 歯肉の代謝の特徴を説明できる。 4. 唾液緩衝作用・抗菌因子に関連する因子を列挙し機能を説明できる。 5. 唾液の消化酵素について説明できる。 6. 唾液の粘性と血液型判定について説明できる。 7. 唾液と歯肉溝滲出液の成分の違いを説明できる。 8. 歯肉の抗菌因子を説明できる。 9. 血清タンパク質の種類とその機能を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：2年時配布したプリントを見直しておくこと。 事前学修時間：1時間 事後学修項目：確認試験と解説、配布プリントの見直し。 事後学修時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 プリント配布</p> <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 5 歯と歯周組織の構造 イ 組織と性状 a エナメル質、象牙質、歯髄</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p>	平塚 浩一

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/06/08 (月) 1時限 09:00～11:00	歯と歯周組織および唾液の構成成分	必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 イ 全身・口腔の生態系 c プラーク<口腔バイオフィルム> 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 5 歯と歯周組織の構造 イ 組織と性状 a エナメル質、象牙質、歯髄 b 歯周組織 6 口腔・顎顔面の機能 オ 唾液分泌 a 唾液の性状、機能	平塚 浩一
2020/06/09 (火) 1時限 09:00～11:00	神経系総論・自律神経 胸腹部内臓	【授業の一般目標】 末梢神経の機能と中枢との関係を理解するために神経系の概要と脳神経核と神経節の構造的機能的意味を習得する。 胸腹部内臓の構成を説明する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 中枢神経の区分と機能を説明できる。 2. 末梢神経の構造的、機能的区分を説明できる。 3. 脳神経核の構造と機能を説明できる。 4. 神経節の構造と機能を説明できる。 5. 消化器系の構成を説明できる。 6. 呼吸器系の構成を説明できる。 7. 泌尿器系の構成を説明できる。 8. 生殖器系の構成を説明できる。 9. 循環器系の構成を説明できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：中枢神経を構成する各部の名称を復習する。脳神経の分布領域を復習する。 ・事前学修時間：30分 ・事後学習項目：配布プリントを熟読する。 ・事後学習時間：60分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無 プリントの配布、マルチメディアを使用。  【学修方略 (LS)】 講義  【場所 (教室/実習室)】 400教室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 カ 頭頸部の神経系 a 脳神経	松野 昌展
2020/06/10 (水) 1時限 09:00～11:00	健康管理・増進と予防②	【授業の一般目標】 適切な健康管理を行うために、感染症対策、国民栄養・食品保健および環境保健について理解する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 感染症対策について説明できる。 2. 国民栄養と食品保健について説明できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：健康管理・増進と予防のために感染症対策、国民栄養・食品保健および環境保健について概説できる。 事前学修時間：60分 事後学修項目：健康管理・増進と予防のために感染症対策、国民栄養・食品保健および環境保健について説明できる。 事後学修時間：60分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布、チェックテスト  【学修方略 (LS)】 講義  【場所 (教室/実習室)】 400教室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 7 感染症対策 ア 感染症対策と疫学 b 感染症の予防	後藤田 宏也
2020/06/11 (木) 1時限 09:00～11:00	陶材、陶材焼付用金属、歯冠用レジン、切削・研削・研磨用材料、歯科用レーザー	【授業の一般目標】 陶材、陶材焼付用金属、歯冠用レジン、切削・研削・研磨用材料、歯科用レーザーについて理解するために、それらの基本的性質について学習する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 歯科用セラミックスの種類、組成および性質について説明できる。 2. 陶材と金属の接合について説明できる。	岩崎 太郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/06/11 (木) 1時限 09:00～11:00	陶材、陶材焼付用 金属、歯冠用レジ ン、切削・研削・ 研磨用材料、歯科 用レーザー	3. 歯冠用レジンの種類、組成および性質について説明できる。 4. 切削・研削・研磨用材料の種類、組成および性質について説明できる。 5. エアーターピンおよびマイクロモーターの特徴について説明できる。 6. 歯科用レーザーの種類および特徴について説明できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：SBOsについて教科書を確認する。 事前学修時間：60分 事後学修項目：確認テストおよびその解説内容を整理する。 事後学修時間：60分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布  【学修方略（LS）】 講義  【場所（教室/実習室）】 400教室  【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 セ 歯科材料・機器 b 診療用器械、切削、研削工具、研磨材  【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅷ 歯科材料と歯科医療機器 6 歯冠修復・義歯用材料 イ セラミックス a 陶材 2 診療用器械・器具 ア 診療用器械 b エアーターピン c マイクロモーター d レーザー装置 イ 切削・研削工具、研磨材 6 歯冠修復・義歯用材料 ウ 金属材料 c 陶材焼付用合金 7 成形技術・機器 イ セラミックスの成形技術・機器 a 陶材の築盛・焼成 b 陶材と金属の接合	岩崎 太郎
2020/06/12 (金) 1時限 09:00～11:00	抗感染症薬、抗腫 瘍薬、代謝改善薬、 ビタミン	【授業の一般目標】 薬物療法を理解するために、抗感染症薬、抗腫瘍薬、代謝改善薬、ビタミンに 関する知識を習得する。  【行動目標（SBOs）】 1. 抗菌薬、抗真菌薬、抗ウイルス薬を列挙し、作用機序、副作用を説明できる。 2. 消毒薬を列挙し、作用機序、副作用を説明できる。 3. 抗腫瘍薬を列挙し、作用機序、副作用を説明できる。 4. ビタミン製剤を列挙し、作用機序、副作用を説明できる。 5. 硬組織代謝改善治療薬を列挙し、作用機序、副作用を説明できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：「抗感染症薬、抗腫瘍薬、代謝改善薬、ビタミン」に関連す る歯科医師国家試験過去問を解き、何が理解できていないか確認する。 ・事前学修時間：60分 ・事後学修項目：確認試験と解説。授業時配布プリントの内容確認と整理。 ・事後学修時間：60分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ・アクティブラーニング：無 ・学修媒体：マルチメディア、プリント配布  【学修方略（LS）】 講義  【場所（教室/実習室）】 400教室  【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 8 薬物療法 ウ 疾患に応じた薬物 治療 c 抗感染症薬  【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 8 薬物療法 ウ 疾患に応じた薬物 治療 d 抗腫瘍薬 e 代謝改善薬、ビタミン	松本 裕子
2020/06/15 (月) 1時限 09:00～11:00	腫瘍・嚢胞	【授業の一般目標】 病因・病態を理解するために、腫瘍及び嚢胞の病理学的知識を修得する。  【行動目標（SBOs）】 1. 以下の行動目標とその教授内容は基礎歯科医学教育及び臨床経験に基づいて いる。	*宇都宮 忠彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/06/15 (月) 1時限 09:00~11:00	腫瘍・嚢胞	<p>2. 腫瘍の定義について述べるができる。  3. 腫瘍の病理組織学的分類について説明できる。  4. 腫瘍発生の諸段階と転移について説明できる。  5. 口腔・顎・顔面領域に後発する代表的な腫瘍の病理学的特徴について解説できる。  6. 嚢胞の定義と分類について説明できる。  7. 嚢胞の病理組織学的特徴について解説できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】  事前学修項目：・腫瘍の定義 ・腫瘍の病理組織学的分類 ・良性腫瘍と悪性腫瘍の鑑別  ・嚢胞の分類と病理組織学的特徴  事前学修時間：30分  事後学修項目：・腫瘍と嚢胞：確認試験及び解説  事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】  アクティブラーニング：なし  マルチメディア</p> <p>【学修方略（LS）】  講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】  400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】  必修の基本的事項  7 主要な疾患と障害の病因・病態  ア 疾病の概念  g 腫瘍</p> <p>【国家試験出題基準（副）】  必修の基本的事項  7 主要な疾患と障害の病因・病態  イ 口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念  i 嚢胞（歯原性、非歯原性）  j 腫瘍、腫瘍類似疾患  歯科医学総論  総論Ⅲ 病因、病態  1 病因、病態  ク 腫瘍  a 概念  c 病因  d 分類と病態  e 組織学的構造  f 前癌状態、前癌病変  g 腫瘍と宿主の関係</p>	*宇都宮 忠彦